

令和3年度せんだんの里グループホーム 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール (中乃家)

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人理念をもとに、ユニット独自の理念を掲げている。管理者・職員全員で共有して、ユニット内の目に付きやすい場所へ掲示する事で、意識して取り組んでいる。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスの影響があり、交流は難しかったが、町内会に加入し、情報交換を行うなど繋がりを持っている。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催方法や委員の意向を都度確認、検討しながら2ヶ月ごとに地域密着運営推進会議を開催している。新型コロナウイルス感染症の流行の状況を見ながら対面での開催を実施出来た回もあり、対面での開催が難しい状況の場合はグループホームでの取り組みを書面で郵送し、確認をいただいている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	外部評価結果の改善計画書を提出したり、必要時には担当者の見解を確認し協力体制を築くよう取り組んでいる。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	身体拘束しないケア委員会を中心に内部研修を開催して、職員全員が身体拘束しないケアへの理解を深められるよう取り組みを行っている。日中は玄関の施錠はせず、自由に行き来が出来るようにしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理者、職員全員による検討、内部研修等、身体拘束や虐待防止への意識を深める取り組みを実施し、身体拘束を行わない意識が高い取り組みを行っていることから。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	高齢者虐待防止の研修に参加して資料を通し職員一人ひとりが正しく理解出来るように学んでいる。高齢者虐待防止自己点検シートや、不適切ケア報告カードを活用した取り組みを行いユニット会議等で定期的に振り返りや見直しをしている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	虐待防止について理解を深める取り組みが計画的に行われている。施設への訪問時、ご利用者が穏やかな日々を過ごしていることが実感できるため。また、定期的に職員一人ひとりの行動を振り返り、見直しを実施していることから。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	研修へ参加し、制度関係の理解に努めている。必要時には関係機関と連携した対応が可能である。		
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時及び契約内容改定の際にはご利用者のご家族へ説明会や文書の配布を行い、理解と納得を得られるようにしている。疑問点や不安についてはオンラインで実施する説明会または定期連絡時など、都度確認をさせていただいている。		
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	意見投書箱を玄関に設置している。例年はプラン提示や面会時に近況の報告や要望、意見を伺う事で支援の見直しを行っている。現在は1~2週に1度の頻度でご家族へ連絡をし、近況報告を行い意見を頂けるようにしている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご家族への定期連絡や、随時の近況報告時での説明を通して、理解や納得に努めたり、意見、要望を汲み取り反映する等仕組みがあるため。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ユニット会議や、面談、日常のやり取りでユニット職員の意見や提案を聞く機会を設けている。擦り合わせを行なって、運営に反映出来るように取り組んでいる。		
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	キャリアパス制度を導入しており、職員それぞれの目標を把握して、面談で達成状況の確認と評価を行っている。向上心を持って働けるように、職場環境の改善に努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員が目標や向上心を持って働けるよう、目標の把握や面談を行うなど仕組みを整え、より良い職場となるように取り組んでいるため。

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の能力や経験に応じ内部・外部研修への参加の機会を設けている。今年度は内部研修の開催方法を都度検討しながら勉強の機会を設けている。また資格取得の為にサポートとして勉強会も行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部・外部研修参加の機会や、勉強会を行うなど職員を育てる仕組みや、資格取得の支援など意欲向上に繋がる取り組みを行うことが出来ている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	宮城県グループホーム協議会へ加入し、例年は職員研修会・講演会等への参加や、他事業所との交換研修を行ない意見交換・交流を図っている。今年度はオンラインでの研修への参加等で意見交換を行った。		
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの出来る事、やりたい事、得意な事、望む生活等に目を向けて、一緒に活動(食器拭き、洗濯物たたみなど)を行いながら、関係作りに取り組んでいる。		
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	オンライン面会や、親族や知り合いが来られた時は、窓越し面会や電話を使い、交流を持ち関係性の継続を行っている。新型コロナウイルス感染症拡大の状況を見ながら、直接の面会を行っていただいていた期間もあり、ご一緒の時間を過ごすことで交流や関係性が継続できるような場の提供に配慮した対応を心掛けている。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメント表を使用して、入居前の生活歴や過去の生活環境等を確認している。入居後は、ご本人やご家族との会話から得た情報を職員間で共有し、把握に努めている。		
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディ	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月モニタリングを行ない、課題とケアの確認をしている。ご本人、ご家族の意向を確認し3ヶ月ごとに介護計画を作成している。主治医と訪問	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメント表の利用や毎月のモニタリングを通してご利用者一人ひとりの理解とケアの検討を行いながら、情報共

18		アを反映し、現状に即した介護計画を作成している		看護師、管理栄養士、歯科衛生士など専門職から確認した指示内容についてもケアに反映し連携を図っている。		有に努め実践を行っていることが確認できるため。
	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子を個別に記録して、気づきや変化を職員間で共有している。毎月のカンファレンスの際、介護計画の見直しに活かしている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子やその中での気づきや変化を記録することで、情報共有を行い、その上で介護計画を適宜必要に応じて見直しを行うなど活かしていることが窺えるため。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホーム内だけではなく、併設している施設とも連携を図り、サービス提供を行っている。コロナ禍の状況により、敷地内やユニット内の活動が主となり、理美容、医療に関する支援なども訪問が中心となりながら、様々な方法で支援を継続している。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	例年では地域のボランティア団体が主催する会に出席、ボランティアの受け入れ、せんだんの里内の行事に参加する等、地域資源を活用しながら、本人の能力を発揮できるよう支援している。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人やご家族の希望するかかりつけ医に受診できるよう配慮している。職員が受診に同行した場合は、当日中に家族へ受診結果の連絡を行なうなど希望に添えるよう情報共有を図っている。		
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時は医療機関の求める情報を「サマリー」等で提供、その後は相談室などと定期的にやり取りを行い情報の共有をすることで状態把握を行っている。面会の際や、退院前の実態調査では状態の把握に努め、退院後も継続的な支援を行なえるようにしている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症の影響で直接の訪問等実態調査などの頻度は例年通り行うことが難しい点もあるが、方法を変えるなど工夫を図り、かかりつけ医や医療機関との連携はしっかりと行われていることが確認できる。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時やそれ以降も定期的に意向を確認している。終末期における看取り指針を作成し、事業所で行なえる医療体制を含めて、ご本人やご家族に説明を行っている。意向確認と同意を得て、看取り支援を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	可能な限り終末期に向けての利用者や家族の意向を確認しながら、説明等も行いご利用者や家族の意向に添った終末期ケアが行われていることが確認できるため。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	急変時や事故発生時の為に手順に沿ったフローチャート等を作成しており、それに基づいた対応が出来るように確認をしている。新人職員を中心に救急訓練等の研修に参加をして、応急手当や初期対応について知識を学んでいる。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期的に防災訓練を行い、昼夜を問わず、入居者様を安全に避難・誘導するために必要な知識や動きを身につけられるように取り組んでいる。また、災害時の食料や物品等についても担当が中心となり確認している。	夜勤者が1名ということもあり、夜間帯の災害時の対応に直面した場合にマニュアルやフローチャートの通りに動けるかが重要になってくるため、今後も訓練の継続が必要。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期的な消防・防災に関する訓練の実施や災害への備え、フローチャートの確認、物品や設備の点検等が実施されている状況のため。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりの事を知り、人格を尊重して、その方に合わせた声掛けや対応を行っている。生活面では利用者ごとの生活空間や共同で使用するスペース、排泄、入浴など様々な場面でプライバシーを損ねる事の無いように対応を確認しながらケアを行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	人格を尊重した声掛けや対応が行われているため。言葉の内容や声のトーンや、伝える場面にも配慮している。やり取りを行う中で確認したご利用者の表情からも様子が確認できるため。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	体調や状態に合わせて、一人ひとりが過ごしやすいペースで生活出来るように取り組んでいる。希望や思いを伺い、実現できるよう取り組んでおり、カンファレンスなどで定期的に確認をしている。			

28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	おやつ作りなどを取り入れながら、食べたい物、季節の雰囲気を感じて頂けるよう取り組んでいる。食事前のテーブルセッティングや盛り付けをご利用者にも役割として協力いただくなど、食事の楽しみを持てるよう配慮している。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者に食に関する準備や調理の作業に参加する機会を提供することにより、自己有用感が高まると共に、より主体的に食事の時間を楽しむことが出来る配慮が見える取り組みを行っており、ご利用者の作業の様子等からも確認ができるため。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの状態に合わせて食事を提供している。また、カロリーが取れていない際や食事のバランスが偏っているとされる場合には、管理栄養士に補助食品などを相談している。1日の食事量、水分量を把握に努めている。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月に1回以上、施設の歯科衛生士からの口腔ケアや口腔内の状態確認を行い、その都度アドバイスを受けている。食前の口腔体操を取り入れたり、食後の口腔ケアの実施や、義歯洗浄を行うなど清潔保持に努めている。必要時は歯科往診の対応を行なっている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯科衛生士も介入し、ご利用者一人ひとりの口腔に関する状態を把握し、ご利用者に合った声掛けや補助など介護職員による日常的な口腔ケアの実施が出来ていると思われるため。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要に応じて排尿回数や量、間隔等をチェックして、一人ひとり排泄パターンの把握に努めている。トイレ誘導、声掛け、体調管理などの支援を活かしている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	画一的な対応ではなく、ご利用者一人ひとりの排泄パターンの把握を行うことで、それぞれの状態や習慣に合った支援方法を行っているため。
32	入浴を楽しむこと ができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりに意向の確認をしながら入浴をしていただいている。温度、入浴の仕方など、体調や希望に合わせて、気持ち良く安全に入浴を楽しんでいただけるよう対応している。		
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中に散歩や体操など活動の機会を設けており、気持ちの良い睡眠や休息が取れるよう、生活リズムを整えている。掛け物や空調など居室の環境整備も行なっている。		

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	服薬管理ファイルを作成して、処方箋や薬の効能を確認できるようにまとめている。処方の変更・中止などがあつた時は主治医、薬剤師からの説明を受け、注意点などを職員が把握し経過の観察を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ファイルの使用などによりご利用者の服薬に関する情報を管理し、服薬による影響も観察を行える状況となっている。また、それらがケアや医療に関するやり取りの際に活用されていると思われるため。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々の役割や、習慣、得意なことや好きなことを知り、日常生活に取り入れている。家事活動以外に近くへの散歩、歌、風船バレーやクイズなどを楽しんでいただき、気分転換を図れるよう取り組んでいる。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今年度はコロナ禍による外出制限などもあるものの、敷地内の散歩や、家の中で季節ごとの行事や日常的な余暇活動で張りのある生活を過ごしていただけるよう配慮している。	外出支援が難しいながらも施設内や敷地など戸外へ出掛けたり、屋内での活動を増やすなど苦慮しながら工夫を図っている。地域の行事や交流の機会も控えている状況のため、対応を継続しつつ、交流も行える状況となるまで情報交換していく。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個人の能力に合わせた金銭の所持や買い物の支援を行っている。必要に応じて職員が財布を準備して、希望の買い物ができるように対応を行っている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	希望があれば電話や手紙が出来るように、ご家族にも協力を頂いて対応をしている。電話を頂いた際や、ユニットからの連絡の際などに取り次ぎを行ない、交流を楽しめるように環境を整えている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	季節の装飾や、花を飾って季節感を取り入れている。照明や、テレビの音、空調など配慮して気持ち良く過ごせるように対応をしている。ご自宅で使用していた家具など、ご本人にとって馴染みのある物を持ち込んで頂き、居心地の良い環境作りに取り組んでいる。ご本人、ご家族と相談		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりの希望や能力に応じて、自立した生活を長く続けられるよう環境を整える配慮や、共有の空間についても掲示物などの工夫も含め季節感を感じられ、張り合いのある暮らしができるように支援を行ったり、居心地の良い環境づくりに配慮しているため。

				をしなが、必要なものを揃えるようにしている。			
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者が望む生活や日々希望されていることを、普段の関わりの中で知る事で、一人ひとりに合わせた提案を行ない自己決定できる場面を作るように取り組んでいる。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントで事前情報を集めたりご本人、ご家族からの情報や会話の中から把握するように努めている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医、訪問看護師、薬局、管理栄養士、歯科衛生士等専門職と連携をし、個々に必要な支援を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問看護師、医師の定期的な対応や緊急時の体勢などで医療面への不安も少なく、怪我や事故にならないような環境や、馴染みの物を配置する環境づくりが行われていることが分かるため。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のカンファレンスで、日々の暮らし方について話をして、可能な限り実行している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使用していた家具等を持ってきて頂き、可能な限り配置を再現している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族との連携も図りなじみの物を持ち込むことで、入居前の環境に近くなるよう配慮されている。ご本人の愛着があるものに囲まれて生活をする事で、安心して日々を過ごすことが出来ている、また、可能な限りご利用者の意を介している。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症の影響で、人流の多い場所等への外出は控えている状況ではあるが、ご利用者の希望に合わせてせんだんの里敷地内の散歩や、併設する特別養護老人ホーム内の共有スペースの	人の往来のある場所などや以前行っていた場所への外出は難しい中ではあるが、家ごとに活動を増やすなど対応を行っているため、継続することが必要。		

				活用など身近な外出などを行うよう努めた。			
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人が出来ることは、可能な限り行って頂いている。事例検討等を行ないながら支援できるように努めている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会話や活動等、ご本人の能力の発揮や生活の張りを得られるよう、事前の情報や入居後に得た情報を基に個々に合わせた活動の場面の提供や、共有スペースでの関わり方、席なども検討し、環境づくりに努めていた。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症の影響により外出等制限や十分に行えない中ではあるものの、一人ひとりの能力や状態に合った活動支援や役割を持った生活を送れるよう配慮されているため。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居住地が施設から近い方は友人の窓越し面会が出来ているが、新型コロナウイルス感染症の影響で遠方の方は直接の面会は難しくなっている。その場合はオンラインでの方法等を提案し、行って頂く事で他者との交流を継続していただいている。	様々な交流を行うことが難しい中で最新の注意を払いながら継続する工夫を図っている。現在の対応を継続しつつ、状況をみながら、交流を拓けられる方法を検討する必要がある。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	役割や個々の趣向に可能な限り沿った活動、ご本人と職員との信頼関係づくりなど安心に繋がる環境づくりに努めている。ご利用者の地域、社会での生活継続の支援となる部分もあると認識している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症の影響により外部の方の出入りや外出などには制限がある状況だが、職員との関係性や、周囲の人との関わりの機会を多く設けるなど穏やかな生活が出来るよう対応していることが、ご利用者の表情や生活の様子からも確認できる。